

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公表番号】特表 2003-503153 (P2003-503153A)

【公表日】平成 15 年 1 月 28 日 (2003.1.28)

【出願番号】特願 2001-507394 (P2001-507394)

【国際特許分類】

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

A 6 1 F 2/84 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 31/00 P

A 6 1 M 29/02

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 29 日 (2007.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ステント本体と、

前記本体の少なくとも一部を覆って配置されるステント被覆と、

前記被覆中に分散された生物活性薬剤とを備え、前記被覆は第 1 の共重合体及び第 2 の共重合体を含み、第 1 の共重合体は前記薬剤を第 1 の速度にて放出し、第 2 の共重合体は前記薬剤を第 2 の速度にて放出し、第 2 の速度は第 1 の速度よりも低速であり、よって前記薬剤は前記被覆から第 1 の速度よりも遅く、かつ第 2 の速度よりも速い速度にて放出されるステント。

【請求項 2】 前記第 1 の共重合体が親水性である請求項 1 に記載のステント。

【請求項 3】 前記第 2 の共重合体が疎水性である請求項 1 に記載のステント。

【請求項 4】 前記第 1 の共重合体が親水性であり、かつ前記第 2 の共重合体が疎水性である請求項 1 に記載のステント。

【請求項 5】 前記第 1 の共重合体が P L A P E O を含む請求項 1 に記載のステント。

【請求項 6】 前記第 2 の共重合体が P L A P C L を含む請求項 1 に記載のステント。

【請求項 7】 前記第 1 の共重合体が P L A P E O を含み、かつ前記第 2 の共重合体が P L A P C L を含む請求項 1 に記載のステント。

【請求項 8】 前記薬剤が、パクリタキセル、パクリタキセル類似体、パクリタキセル誘導体、及びそれらの組み合わせからなる群から選択される薬剤を含む請求項 7 に記載のステント。

【請求項 9】 長期間にわたって生物活性薬剤を制御可能に放出するためのステントであって、

ステント本体と、

生物活性薬剤と、

前記薬剤を前記ステント本体に付着させ、かつ時間の経過により前記薬剤を前記ステント本体から放出させる手段とを備え、前記薬剤を制御可能に放出するための前記手段は、前記薬剤を第 1 の期間にわたって第 1 の速度にて放出する第 1 の手段と、前記薬剤を第 2 の期間にわたって第 2 の速度にて放出する第 2 の手段との組み合わせを含み、前記第 1 の

速度は前記第 2 の速度より速く、かつ前記第 1 の期間は前記第 2 の期間よりも短いステント。

【請求項 10】 放出するための前記第 1 の手段が生体吸収性ポリマー材料を含み、かつ放出するための前記第 2 の手段が生体吸収性ポリマー材料を含み、第 1 の手段は第 2 の手段よりも速く吸収される請求項 9 に記載のステント。

【請求項 11】 生物活性薬剤をヒトの体内に放出するステントであって、
ステント本体と、

前記ステント本体の少なくとも一部を覆って配置されるポリマー被覆と、

前記ポリマー被覆に混合された生物活性物質とを備え、前記ポリマー被覆は P L A - P E O 共重合体と P L A - P C L 共重合体との混合物を含むステント。

【請求項 12】 前記生物活性薬剤が、パクリタキセル、パクリタキセル類似体、パクリタキセル誘導体、及びそれらの組み合わせからなる群から選択される薬剤を含む請求項 11 に記載のステント。